Hewlett Packard Enterprise

ITIL® 4 スペシャリスト：Collaborate, Assure and Improve (CAI)<含認定試験>

ITIL 4 のプラクティス(継続的改善、サービスレベル管理、関係管理、情報セキュリティ管理、サプライヤ管理)を解説。ITILスペシャリスト：CAI含認定試験。

スケジュールと申し込み	スケジュール確認・お申し込み
コースコード	H37WQS
日数（開始時間～終了時間）	3日間 (10:00～18:30)
実施方法	・ライブオンライン ・ 1社研修・オンサイト研修
受講料	**280,000円 (税込み：308,000円)**
主催	日本ヒューレット・パッカード合同会社

※受講料は、予告なく変更されることがございます。

コースの特徴

- ITIL4資格認定制度に対応した試験付き認定コースです。試験に合格すると「ITIL4 スペシャリスト：Collaborate, Assure and Improve」認定資格を取得できます
- ITIL4プラクティスマネージャー資格を取得するための要件の一つです。ITIL 4プラクティスマネージャーの認定を受けるには、本コースと試験に加えて、HU0C2S: ITILスペシャリスト:作成、提供、サポートのコースと試験を修了している必要があります
- ITIL4 の5つの管理プラクティス(継続的改善、サービスレベル管理、関係管理、情報セキュリティ管理、サプライヤ管理)の主要な概念、原則、価値、課題について解説します
- 講義/資料/試験はすべて日本語です

- 受講後1年間、合格するまで再試験を無料で受験できます（試験料金はHPE教育サービスが負担します)。無料で再試験をご受験するためには、当該試験の不合格を証明する文書が必須です。※2025年4月から無料再試験は最大3回になります
- スマホ対応の試験対策eラーニングで、効率よく試験対策ができます

コースの概要

本コースは次のような内容を扱います。

- 継続的改善プラクティス
- サービスレベル管理プラクティス
- 関係管理プラクティス
- 情報セキュリティ管理プラクティス
- サプライヤ管理プラクティス

※コース概要は、予告なく変更されることがございます。

コースの目的

このコースを修了すると以下のことができるようになります。

- ITIL 4の5つのプラクティス(継続的改善、サービスレベル管理、関係管理、情報セキュリティ管理、サプライヤ管理)の主要な概念、原則、価値、課題を説明する
- 利害関係者が価値を共創し、ビジネス目標を達成するための戦略的要件と運用要件を理解する
- 組織のバリューストリームにプラクティスを統合する
- 5つのプラクティスにおけるインターフェイスと相乗効果を理解する
- 指標を適用し、成功要因を実践してパフォーマンスを向上させる
- ITIL成熟度モデルを使用してカバーされるさまざまなプラクティスの能力を測定、評価、および開発する

主な対象者

- プラクティスを使用して優れたバリューストリームを確立したいITプロフェッショナル
- ITIL 4 Collaborate, Assure and Improve資格の取得を目指す方

前提知識

- ITIL 4ファンデーション資格または ITIL 4マネージングプロフェショナルトランジション資格を取得済みの方

- ITIL V3のいずれかの認定資格を取得済みの方(2024年11月より要件が緩和されました)
- コースお申込時に認定証のコピーをご提供ください。認定試験受験の必要書類となります。

コースの説明

1．継続的改善プラクティス

- プラクティスの主要概念
- プラクティスのプロセス
- プラクティスの役割と能力
- 情報と技術がどのようにプラクティスをサポートするか
- プラクティスにおけるパートナとサプライヤの役割
- ITILケーパビリティ・モデルを使用してプラクティスを開発する方法
- プラクティスを成功させるための推奨事項

2．サービスレベル管理プラクティス

- プラクティスの主要概念
- プラクティスのプロセス
- プラクティスの役割と能力
- 情報と技術がどのようにプラクティスをサポートするか
- プラクティスにおけるパートナとサプライヤの役割
- ITILケーパビリティ・モデルを使用してプラクティスを開発する方法
- プラクティスを成功させるための推奨事項

3．関係管理プラクティス

- プラクティスの主要概念
- プラクティスのプロセス
- プラクティスの役割と能力
- 情報と技術がどのようにプラクティスをサポートするか
- プラクティスにおけるパートナとサプライヤの役割
- ITILケーパビリティ・モデルを使用してプラクティスを開発する方法
- プラクティスを成功させるための推奨事項

4．情報セキュリティ管理プラクティス

- プラクティスの主要概念
- プラクティスのプロセス
- プラクティスの役割と能力
- 情報と技術がどのようにプラクティスをサポートするか
- プラクティスにおけるパートナとサプライヤの役割
- ITILケーパビリティ・モデルを使用してプラクティスを開発する方法
- プラクティスを成功させるための推奨事項

5．サプライヤ管理プラクティス

- プラクティスの主要概念
- プラクティスのプロセス
- プラクティスの役割と能力
- 情報と技術がどのようにプラクティスをサポートするか
- プラクティスにおけるパートナとサプライヤの役割
- ITILケーパビリティ・モデルを使用してプラクティスを開発する方法
- プラクティスを成功させるための推奨事項

備考

ご注意：ライブオンライン研修の場合、研修期間中の試験実施はございません。研修終了後、お客様のご都合に合わせた日程でご受験いただけます。試験はPeopleCertオンラインプロクタリング試験を使用します。試験用バウチャはコース開始3営業日前までにお届けします。
教室での研修実施の場合は、研修最終日に紙による試験を実施します。

PDU クレジットポイント申請可能コースです。詳しくはこちら。PDUの申請に必要な情報は、受講証明書に記載されています。受講証明書はコース終了後5営業日以内にメールでお送りします。

認定の更新にはルールがあります。PeopleCertの公式ページをご一読ください。

※コース内容は、予告なく変更されることがございます。

ITIL® is a registered trademark of the PeopleCert group. Used under licence from PeopleCert. All rights reserved.

お問い合わせ・お申込み



日本ヒューレット・パッカード合同会社

HPE教育サービスお問い合わせ窓口

(月～金：　9：00～12：00、13：00～17：00、土日、祝祭日、年末年始及び5/1は除く)

お問い合わせフォーム →

FAQサイト →

© Copyright 2024 Hewlett Packard Enterprise Development LP